

東北大学が育成する人材 ～グローバルリーダー

◆ 「課題に果敢に挑戦し、新地平を切り開くグローバル・リーダー」

- グローバルかつ予測困難な社会を牽引し、産官学の様々な分野で、課題に果敢に挑戦し、新しい価値を創造できるような指導的人材
- 日本・東北の復興に貢献するとともに、その体験を世界に発信できる人材

◆ 学部卒業時に持つべき能力

- 豊かな知識と深い理解の上に立つ柔軟で強固な「**専門基礎力**」
- 専門能力を発揮し世界に貢献するための「**グローバル人材としての能力**」
 - ・ 「**外国語能力**」+「**コミュニケーション能力**」
アカデミック英語の読み書き、聞く・話す力の基礎
論理的にわかりやすく伝える能力
 - ・ 「**国際教養力**」 自己と他者の文化・歴史などを深く理解、尊重の精神
 - ・ 「**行動力**」 課題解決能力、判断力、積極性、実行力
 - ・ 「**海外研鑽経験**」

G30事業により格段に進展してきた本学の国際化を、**グローバル人材育成推進事業**の実施を通して一層前進させ、グローバル化に対応した人材の育成を加速する。

- ◆ 日本人学生へのグローバル人材教育を強化する。
- ◆ グローバルネットワークの活用とともに、東北大学内にグローバル・キャンパスを実現する。
外国人学生との**混住環境(ユニバーシティハウス)**、共修環境の拡充
- ◆ 「**グローバル・ラーニング・センター**」を設立し、グローバル人材育成の一層の教育環境の整備を図る。

グローバル化に対応した教育プログラム

◆ 英語教育＋海外派遣による動機付けで**英語力の向上**を目指す。

正課での英語教育の充実

2年次: スキル別英語実践講座開講 (H25年度より)、3・4年次: 専門英語講座、アカデミックライティング拡充

正課外で様々な英語学習プログラムを拡充

プラクティカル・イングリッシュコース (2セメ 10回)、英語学習支援短期プログラム (1週間、春・秋実施)、e-learningの利用の拡充、学修アドバイス制度の強化

TOEFL-ITPの全学生に対する定期的実施の拡充

1年次12月 (既) 2年次12月 (新) 4年次7月 (新)

◆ スタディアブロードなどの**短期派遣プログラム**の拡充

現在全学規模で実施しているSAP

①カリフォルニア大学リバーサイド校 (夏、春) 4週間、2単位

・英語運用能力を高めるための語学トレーニング ・多民族多文化社会を理解するための種々の活動

②ニューサウスウェールズ大学 (春) 5週間、2単位

・高度な英語運用能力の養成 ・ニューサウスウェールズ大学の授業を専門に応じて聴講

SAPなどの短期派遣プログラムの拡充 → より長期の派遣留学 (交換留学等) の増加

◆ **留学を促進するための環境整備** (H23年学生生活調査結果に基づく)

語学力サブプログラムで英語力増強、奨学金等の充実、留学中・後のキャリア支援の充実など

◆ **英語による授業のみで学位が取得**できるコース

学士課程 (国際学士コース): 理学部、工学部、農学部 にコースを開設。 大学院: 13コース (修士定員88名、博士定員75名)

◆ **ダブルディグリープログラム**

フランス: 国立中央理工科学校、国立応用科学院リヨン校 スウェーデン: スウェーデン王立工科大 中国: 清華大学

◆ **英語による授業の推進 (FDの取組)**

東北大学グローバル・リーダー育成カリキュラム（24年度開始）

事前教育

入学前英語学習、オリエンテーション・ガイダンス(1年春)、キックオフサマーキャンプ(1年夏)

3+1のサブプログラム

- ◆ **語学力・コミュニケーション力養成サブプログラム**
学生のニーズ、習熟度に合わせて多様なプログラム
- ◆ **国際教養力養成サブプログラム**
「日本と世界：自文化・異文化理解」、「国際共修ゼミ」、「グローバル人材セミナー」等
- ◆ **行動力養成サブプログラム：**
「基礎ゼミ」、「東北の今：震災復興の現場で学ぶ」、「プレ国際共同研究研修」等
- ◆ **海外研鑽サブプログラム：** 短期海外研修、交換留学、各種サマープログラム 等
※ 低学年での海外研鑽の機会を増やす。

サブプログラムの授業



海外研鑽経験
(短期・長期)



グローバル・キャンパス
環境での学習・生活

グローバル・リーダーとしての基礎を育む

- プログラム修了生には「グローバル・リーダー育成プログラム修了証」、優秀者には「グローバル・リーダー認定証」を授与。